

令和3年度 学校教育自己診断集計結果

A：よくあてはまる
 B：ややあてはまる
 C：あまりあてはまらない
 D：まったくあてはまらない

【生徒回答】（回答数 109名／対象数 121名）

	診断内容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	学校に行くのが楽しい。	24.8%	35.8%	27.5%	11.9%	0.0%	60.6%
2	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	36.7%	46.8%	9.2%	7.3%	0.0%	83.5%
3	授業は、わかりやすい。	25.7%	47.7%	19.3%	6.4%	0.9%	73.4%
4	教え方に工夫をしている先生が多い。	33.9%	45.0%	13.8%	5.5%	1.8%	78.9%
5	いじめについて私たちが困っていることがあれば、先生は真剣に対応してくれる。	38.5%	41.3%	10.1%	9.2%	0.9%	79.8%
6	担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。	41.3%	40.4%	9.2%	9.2%	0.0%	81.7%
7	学校生活について、先生の指導に納得できる。	38.5%	42.2%	9.2%	9.2%	0.9%	80.7%
8	授業や総合学習では、将来の進路や、生き方について考える機会がある。	33.9%	45.0%	10.1%	11.0%	0.0%	78.9%
9	文化祭は楽しくおこなえるように工夫されている。	42.2%	43.1%	9.2%	5.5%	0.0%	85.3%
10	スポーツ大会は楽しくおこなえるように工夫されている。	35.8%	43.1%	13.8%	6.4%	0.9%	78.9%
11	命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。	39.4%	41.3%	11.0%	8.3%	0.0%	80.7%

【保護者回答】（回答数 17家庭／対象数104家庭）

	診 断 内 容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	17.6%	41.2%	29.4%	11.8%	0.0%	58.8%
2	先生は子どものことを理解している。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	29.4%	47.1%	23.5%	0.0%	0.0%	76.5%
4	子どもの学習内容に満足している。	35.3%	47.1%	11.8%	5.9%	0.0%	82.4%
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	11.8%	82.4%	0.0%	5.9%	0.0%	94.1%
6	気になる事柄について先生に相談しやすい。	23.5%	70.6%	0.0%	5.9%	0.0%	94.1%
7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	17.6%	76.5%	5.9%	0.0%	0.0%	94.1%
8	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	0.0%	94.1%
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	41.2%	23.5%	17.6%	17.6%	0.0%	64.7%
10	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	0.0%	94.1%
11	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	29.4%	58.8%	11.8%	0.0%	0.0%	88.2%

【教職員回答】（回答数15名／対象数16名）

	診断内容	A	B	C	D	無回答	A+B
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	60.0%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	86.7%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	26.7%	60.0%	6.7%	0.0%	6.7%	86.7%
3	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	26.7%	33.3%	33.3%	0.0%	6.7%	60.0%
4	本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	40.0%	46.7%	6.7%	0.0%	6.7%	86.7%
5	本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	26.7%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
7	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%	86.7%
12	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%
13	生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
14	学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%
15	学校は授業力向上のための校内公開授業等を積極的に推進し、また教員相互の授業を検討する機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%
16	コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%
17	学校は体罰やセクシャルハラスメントの防止をはじめ、個人情報管理などすべての教育活動において人権尊重に基づいた指導が行われている。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
18	学校（教員）は組織として「報告・連絡・相談」が徹底されている。	33.3%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%	86.7%
19	教員間の相互信頼があり、意見を率直に言える環境、雰囲気である。	46.7%	26.7%	6.7%	6.7%	13.3%	73.3%

R03 分析・検討事項

回答の(A+B)を肯定的回答とし、その割合を経年変化・学年比較を中心に分析・検討を行った。

【生徒】

昨年と比べた場合、1, 3, 5, 11の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、2, 4, 6, 7, 8の項目で5ポイント以上、9, 10の項目で10ポイント以上、上昇している。

1は3年次が低く、1年次と2年次と4年次が高い。また、6, 7, 8は4年次が低く、1年次と3年次が高い。それ以外の項目は、3年次と4年次が低く、1年次と2年次は高い傾向がある。

「教え方に工夫をしている先生が多い。」、「先生は生徒の意見を聞いてくれる。」、「学校生活について、先生の指導に納得できる。」、「担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。」という項目では昨年度より肯定率が上昇している。授業改善の取り組みや生徒指導や教育相談体制の充実に成果が表れてきたと推察できる。

「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目は、昨年度は文化祭が中止となったため「校外学習は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目に差し替えたが、従来の文化祭を実施した一昨年の結果と比べて10ポイント以上上昇している。また、「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目についても、昨年の結果と比べて10ポイント以上上昇している。新型コロナウイルス感染症対策との両立を模索しながらそれぞれの行事のあり方を抜本的に見直して、生徒が積極的に参加できるように工夫したことが功を奏したと考えられる。

【保護者】

昨年と比べた場合、8の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、2, 3, 4, 5, 6, 7, 10, 11の項目で10ポイント以上、9の項目で6ポイント以上上昇している。一方、1の項目については、6.7ポイント低下している。

「先生は子どものことを理解している。」、「子どもは授業がわかりやすいと言っている。」「子どもの学習内容に満足している。」、「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」、「気になる事柄について先生に相談しやすい。」、「学校の生徒指導の方針に共感できる。」、「学校は、教育情報について、提供の努力をしている。」、「学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」と答えた割合が昨年度より大幅に上昇しており、授業改善や教育相談体制の充実、生徒指導体制の改善の取り組みが実を結びつつある結果ではないかと考えられる。また、「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」と回答した保護者の割合も昨年度に引き続き増加したことも大変ありがたいことで「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」と答えた保護者の割合が58.8%と低く、昨年度より6.7ポイント低下していることについては、今後の課題として学校全体で改善策を検討する必要がある。

【教職員】

昨年と比べた場合、2, 5, 8, 10, 12, 13, 18の項目は、大幅な変化が見受けられない。また、4, 6, 7, 9, 17の項目で5ポイント以上上昇している。それに対して、1, 3, 11, 14, 15, 16, 19の項目で5ポイント以上低下している。

学習指導については、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」、「年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。」という項目が昨年度より10ポイント以上の大幅減となっている。次年度入学生から実施される新教育課程と指導と評価の一体化に向けて、学習指導計画のさらなる見直しを図っていくことが急務であると考えられる。また、「校内公開授業等を積極的に推進し、教員相互の授業検討の機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。」という項目や、「コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。」という項目については、昨年度に比べて6.7ポイント低下している。生徒一人一台端末が今年度配備されたので、これらを活用した授業づくりや授業改善の方法に向けて、校内研修や研究授業等の機会を増やしていくことが必要だと考えられる。一方、「本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。」という項目については、昨年度より6.7ポイントの上昇となっている。常勤の教員の数削減される中ではあるが、外部人材を積極的に活用して、授業への入り込み等の個別支援を充実させたことが現れたと考えられる。

「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」という項目についても肯定率が昨年度は100%を切ったが、今年度は再び100%に戻った。様々な課題を抱える生徒の割合が増加する中、外部人材とも連携しながら学校として生徒一人ひとりの実態に即してできるだけ細かい個別対応を行ってきた結果が表れていると考えられる。また、「本校では、カウンセリングマインドに基づいた生徒指導を行っている。」という項目や、「教育活動において、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を作るように配慮している。」という項目、「生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。」という項目については、今年度も肯定率100%を維持しており、「いじめが起こった際の対応が整っており迅速に対応できる。」、「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。」という項目についても、今年度は肯定率100%を達成することができた。

「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。」という項目が昨年度より13.3ポイント低下している。学校行事や学校の取り組みなどについて、生徒・保護者や地域に積極的に広報していく必要がある。また、「学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。」については、昨年度は100%であったが、今年度は6.7%低下している。保護者との連絡・連携方法についても、ICTの活用など多角的に検討していく必要がある。教職員の組織については、「教員間の相互信頼があり意見を率直に言える環境、雰囲気である。」という項目と、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」について、昨年度は大幅に上昇したが、今年度は大幅に低下している。「学校（教員）は組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている。」という項目と、また、「学校運営に教職員の意見が反映されている。」という項目についても、昨年度より若干低下しており、教職員相互の信頼感の醸成や意思疎通の方法について、抜本的に見直しを図っていくことが必要である。

【全体を通して】

生徒アンケートについては、「学校に行くのが楽しい。」という項目が昨年度に引き続き低い評価となっており、とりわけ3年次で低くなっていることが大きな課題である。これまでも生徒一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導を心がけてきたが、生徒への声かけをより積極的に行うとともに、保護者や外部機関との連携を深めながら教育相談体制をより一層充実させるなどの対策が必要である。また、生徒が学校生活を楽しいものと思えるように、授業改善に引き続き取り組むとともに、学校行事をより充実したものにしていくことが必要である。

保護者アンケートについては、多くの項目で昨年度に比べて高い評価を頂いた項目が多かった。ただし、生徒アンケートと同様に、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」と答えた保護者の割合を増やすための改善策を、学校全体で検討する必要がある。

教職員アンケートについては、教育相談体制に関する項目はおおむね改善傾向にあるが、学習指導に関する項目と教職員間の信頼関係や連絡体制に関する項目は改善に向けて取り組みを進めていく必要がある。今後、取り組むべき課題や問題点を精査することにより、学習指導の体制の組織化や、教職員の組織力のさらなる向上に取り組んでいきたい。